

平成 26 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ プ ロ セ ル
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 横 山 周 史
(コード番号：4978)
問 合 せ 先 取 締 役 片 山 浩 美
(TEL. 045-475-3887)

**新生銀行との共同ベンチャーファンド「Cell Innovation Partners, L.P.」の
運営開始に関するお知らせ**
～国内外の未上場の iPS 細胞・再生医療関連のバイオベンチャーを投資対象とするファンドが始動～

当社は、平成 26 年 1 月 28 日発表の「リプロセル、新生銀行と共同でベンチャーファンドを設立」にてお知らせしましたように、株式会社新生銀行（本社：東京都中央区、代表取締役社長 当麻茂樹、以下、「新生銀行」）の連結子会社の新生企業投資株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 松原一平、以下、「新生企業投資」）と共同で「Cell Innovation Partners, L.P.」（以下、「本ファンド」）を平成 26 年 3 月に設立していましたが、この度、平成 26 年 9 月 26 日付でファンド規模 8 億円にて本ファンドの運営を開始いたしましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、以下の三つの特長を有しています。

1. iPS 細胞をはじめとする万能細胞や再生医療関連ベンチャーを中心に投資を行います。投資検討においては、iPS 細胞ビジネスのパイオニアである当社グループの当該領域に関する業界、事業、技術の理解に基づきバイオベンチャーの成長可能性を評価し、投資後 5～7 年以内に事業化が見込めるバイオベンチャーへ投資を行います。
2. 日本に加え、当社グループの世界的な研究ネットワークの活用によって細胞・再生医療の実用化で先行する米国・欧州をはじめとする海外のバイオベンチャーの動向もいち早く察知し、グローバルな投資を積極的に行います。
3. 投資先のバイオベンチャーの成長に貢献する支援を行います。平成 25 年 6 月に上場した当社の経営面での経験・ノウハウ、技術・製品開発に関する知見や海外販売チャンネル、新生銀行グループの資本政策についての知見や資金調達ネットワークを活かし、投資先のバイオベンチャーを事業・資金調達の両面から支援いたします。

当社は、本ファンドを通じて、国内外の iPS 細胞・再生医療関連のバイオベンチャーへの成長資金の提供を行い、世界中の革新的な技術シーズの確保と育成、そして連携を図り、当社の再生医療の実現と競争力の強化に向け、前進してまいります。

【本ファンドの概要】

名 称 : Cell Innovation Partners, L.P.
所 在 国 : ケイマン諸島
設 立 : 平成 26 年 3 月
ファンド規模 : 8 億円
運 営 者 : Cell Innovation Partners Limited[※] (URL: <http://www.cell-ip.com>)
出 資 者 : GP (無限責任組合員) 出資 : Cell Innovation Partners Limited
LP (有限責任組合員) 出資 : 株式会社リプロセル、株式会社新生銀行、
SMBC 戦略出資 2 号投資事業有限責任組合

期 間 : ファンド期間 7 年

投 資 対 象 : 国内および海外の細胞・再生医療関連ベンチャー

※ 当社 100%子会社の RC パートナーズ株式会社と新生企業投資がそれぞれ 50%出資して平成 26 年 2 月に設立したケイマン諸島籍の本ファンドの運営・管理会社

以 上